



県と市町の情報ホットライン

かがわ

vol.
122

発行●(公財)香川県市町村振興協会 監修●香川県政策部自治振興課
HP●<http://chousonkai.or.jp/shinkou/publication/>

まちづくり最前線/東かがわ市

My Town

地域一丸で生徒の人格形成を目指す

サイテックアイ株式会社 代表取締役社長 大澤 佳加さん

Top Message

ふるさとDXで、地域社会の課題解決の一翼を担う!

地域の元気印/丸亀市

People

認定NPO法人さぬきっずコムシアター



「丸亀子ども劇場」を出発点に40年を超える歴史がある「さぬきっずコムシアター」。
2020(令和2)年には厳しい条件を満たし認定NPO法人となり、幼児期のみならず生涯にわたる居場所づくり、絆づくりに取り組んでいます。



東かがわ市



学校部活動の地域への移行にあたり独自の「東かがわクラブ」を創設 地域一丸で生徒の人格形成を目指す

スポーツ庁及び文化庁では、2022(令和4)年に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定。これを受けて香川県が総合的なガイドラインを策定し、今後の学校部活動の地域移行の方向性の大枠を示しました。こうした中、持続可能なスポーツ・文化芸術活動を目指し、地域クラブを立ち上げた東かがわ市の取組みについてご紹介します。



左から、教育委員会事務局学校教育課の橋本征治地域部活動統括コーディネーターと、久武滋主任指導主事。

東かがわクラブ誕生！

国・県のガイドラインを踏まえて東かがわ市において、地域クラブ「東かがわクラブ」がスタートしました。同クラブ

は、学校、保護者、地域の連携のもと、スポーツ・文化芸術活動による教育的機能を高めるために設置されたもので、東かがわ市立中学校におけるすべての学校部活動の受け皿として、現在は東かがわ市教育委員会事務局が管理運営を行っています。

まず、「東かがわ市学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関するガイドライン」を示し、生徒や保護者の理解を得ながら段階的な地域移行を進めました。2023(令和5)年度から

2025(令和7)年度までを改革推進期間とし、この3か年において市立中学校の休日における運動・文化部活動すべてを地域へ移行し、地域クラブ活動の充実を図ることにしたのです。

現在の地域移行の進捗状況は、市内3中学校にある16種類37部活中、軟式野球、男子バレー、剣道の3種類8部活が、2023(令和5)年12月31日の時点で休日における地域移行を完了しました。

少子化の波の中、一人ひとりの人格形成を目指す

教育委員会事務局学校教育課の久武滋主任指導主事によると「東かがわクラブは、これまで学校部活動が培って

きた教育的意義を引き継ぎ、最終目標は学校と地域、行政が一つになって、教育の目標である人格の形成を目指します。単にスポーツ、文化活動を楽しむというだけではなく、教育的価値を付加するというのが東かがわ市の大きな特徴です」と語ってくれました。

久武主任指導主事は、2022(令和4)年度当初からの担当ですが、東かがわ市において地域移行に向けた取組みが始まったのは、2021(令和3)年度からでした。「生徒数の減少により、各学校での部活動がままならなくなり、このままでは大会にも出場できない状況で、そこに地域移行の話が出てきました」と東かがわ市の事情を説明してくれたのは教育委員会事務局学校



東かがわクラブでは、学校や関係機関・団体と連携・協力し、以下の事業を実施します。

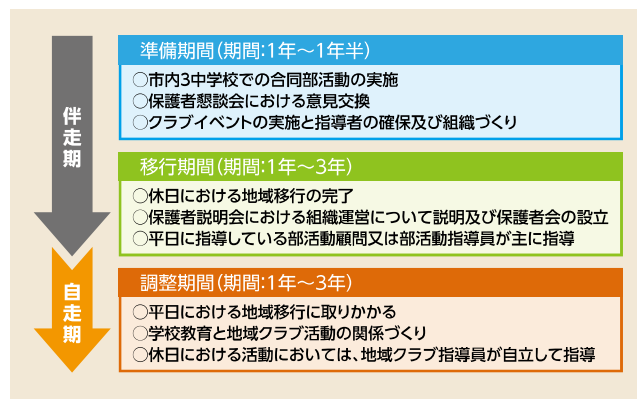
- ①スポーツ・文化支援事業 ②地域との交流事業 ③その他会長が必要と認める事業
(東かがわ市部活動推進計画より)



東かがわ市では、クラブ活動以外にも、市内3中学校合同で生徒たちが活動を行っています。写真は、活動を通して制作した観光ポスター。



東かがわクラブを詳しく紹介するリーフレットを作成。広く理解を求めました。



「休日における学校部活動の段階的な地域移行計画」
市内3中学校すべての種目において、休日における地域移行を完了させる計画です。

教育課の橋本征治地域部活動統括コーディネーター。

部活ごとの説明会など丁寧な理解を得る

当初は全体的なスキームも定まっていなかった中で、学校や地域、保護者の方々と同じ目標に向けて進めていく必要がありました。そのために、まず学校ごとの説明会ではなく、学校部活動ごとに3校の保護者を集めた説明会を複数回行い、多いときは月3～4回と重ねました。最初はさまざまな意見をいただき、厳しい意見も少なくありませんでした。「ご意見をいただきながら、学校と地域と保護者の方々と一つ一つ解決していきましました。それが今となつてはご理解いただける素地になつています」と久武主任指導主事。「東かがわ市の中学校は3校とも小中一貫校。逆に言えば他市町に比べ小回りが利くことを生かし、行政だけ、学校だけでなく、一部の人が頑張るのではなく、それぞれの立場で当事者意識を持つて部活動改革を進めるのが一番と考えました」と続けます。

これを実行するのは、なかなか大変でしたが、「地道な活動を実行したおかげで、現在の保護者の方々の理解や学校の協力につながっています。この過程が

なければ、いろいろな問題が噴出したことでしょう」と橋本統括コーディネーターも初期の取組みを評価します。

課題は財源をはじめ山積

平日、休日ともにクラブ活動バス（スクールバスを活用）を運行し、安全で効率的な活動を支援するなど、改革推進期間終了後も安定的・持続的な運営ができるよう配慮しています。が、バスの費用



安全管理の徹底と保護者負担を軽減するためにスクールバスを活用して移動を行います。

も含め財源も頭が痛い問題です。「本来の地域移行というのは事務局も行政から切り離して一般社団法人やNPO法人などが自走しなければいけないと考えています。そのためには、財源の確保が必要です。現在の有力候補は企業版ふるさと納税やクラウドファンディング。つまり、学校じゃない団体だからこそできる財源の確保の仕方があるわけです。視野を広く持つて、できる限り保護者の方や生徒への負担は少なくしたいと考えていますが、無料で今まで通り

のサービスを保証するのは難しいとも考えています」と課題に苦慮する事務局です。

また、指導者には教員並みのコンプライアンスが要求されますが、子どもたちを守るための研修などの時間をどう取るか、研修内容はどういうものがふさわしいのかなど、考えなければならぬことは山積しています。

まちの未来のために

「これから多くの地域クラブが立ち上がってくると思いますが、東かがわクラブは、学校部活動が培ってきた素晴らしさ、大きな価値を子どもたちが感じながら、あるいは大人が子どもたちにしつかりと伝えながら進めていきます。東かがわ市での活動を礎に、どこにいても生まれたまちのことを忘れず、頑張ることのできる子どもたちに育つてほしいと願っています」と橋本統括コーディネーター。

そして、将来的には、中学生世代にとらわれない持続可能な地域のスポーツ・文化芸術活動が実施できる環境整備を目指しているのです。

クラブ活動を通じて大人も子どももコミュニティの絆が広がり、深まる東かがわ市。この経験がまちの未来にとって大切な力になることでしょう。

香川の先進企業の力を探る あの人に会いたい！

サイテックアイ株式会社

代表取締役社長

大澤 佳加さん

人口減少、少子高齢化、東京一極集中、過疎化、産業の空洞化など、全国各地で抱えている社会課題を「デジタル地域通貨」という決済手段を使って解決し、地域経済とコミュニティの活性化を実現することが我々のミッションです。

デジタルというと、苦手意識を持つ方もいらっしゃると思いますが、実際に使ってみると意外と簡単で、生活になくならないツールのひとつであることは間違いありません。特に、ご年配の方には、デジタルというやさしさを実感していただき、充実した日常生活を過ごしていただくためにも、地域全体でDXを推進していくことが重要であると考えています。



地域社会の課題を解決するツールとして「デジタル地域通貨」を活用し、地域の絆を結び活性化を目指す、サイテックアイ株式会社。2022（令和4）年にリリースした「マイデジ」アプリは、地元香川県をみんなで応援する地域通貨ソリューションで、お買い物は勿論、健康づくりや地域活動を通して社会貢献が手軽にできる仕組みを実現しました。将来を見据えた地域づくりのために、代表取締役社長である大澤佳加さんにお話を伺いました。



健康ポイント事業の一環として、熊本県合志市でイベントを行いました。健康づくりでポイントがたまるアプリは、県外でも大好評です。



香川県三豊市では市民のためのデジタル通貨「Mito Pay (みとべい)」で市民生活応援事業などを展開中です。



購買レシートの膨大な顧客データや街頭アンケートなどを基に、ニーズを探る「高松DXビジョンマップ」を作成。



■ 貴社の企業理念を教えてください。

「ふるさとへの愛とありがとうをかたちにする」が企業理念です。私は香川県で生まれ育ち、地域への愛着や人々への尊敬の念を抱き続けてきました。地域からたくさんさんの愛をいただきました。その「ありがとう」の思いを、ふるさと香川県で形にしていきたいと考えています。

■ 貴社の事業内容についてお聞かせください。

「デジタル地域通貨事業」「健康づくりプロジェクト支援」「地域プロデュース」の大きく三つの事業を行っています。

「デジタル地域通貨事業」は、もとも2009(平成21)年にICカードでスタートし、2022(令和4)年4月から、アプリへとバージョンアップを図り、「マイデジ」アプリとして展開しています。お買い物だけでなく、健康づくりや寄付など、さまざまなサービスを通じて地域を活性化させることが実現できます。デジタル地域通貨を使い、人やモノ、コト、情報をつないで、香川県のコミュニティを醸成していく事業です。

2018(平成30)年にスタートした「健康づくりプロジェクト支援」は、企業の福利厚生の一つとして提供して

いるもので、社員の健康づくりを応援し、企業の生産性の向上と社会貢献の両方を実現するというサービスです。

企業のトップの方々からは、地域貢献は企業の社会的責任のひとつではあるが、会社の収益も同時に考える必要があり、双方を具現化する仕組みが今までありそうでなかったというお言葉をいただくことがあります。

そこで、「マイデジ」アプリ内のヘルスケア機能をご提案させていただき、社員の方の健康づくりは勿論、地域社会への貢献を実現させるためのお手伝いをさせていただいています。

今から約15年前にスタートしたデジタル地域通貨事業は、認知度も低く、事業内容をご理解いただくだけでもずいぶん時間がかかりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、新しい生活様式が求められ、全国で一気に進みました。政府のデジタル田園都市構想の中でも、デジタル地域通貨事業が全国各地で次々と立ち上がっています。弊社はシステムの提供だけでなく、運営管理にも携わってきたノウハウがありますので、全国の自治体様の導入から自走までの運用のお手伝いを行っております。それが共にビジョンを見つけて出す「地域プロデュース」事業です。

■ 地域通貨サービスを取り扱う中の難しさ、やりがい、工夫点等についてお聞かせください。

デジタル地域通貨事業は、多くのメリットがありますが、その分、難しいところもあります。それは、地元の協力者をいかに巻き込むことができるかということです。弊社は、事業立ち上げ当初から民間だけで自走させてきたため、大変な労力とコストがかかり、会社倒産の寸前まで追い込まれた時期もありました。しかし、関係会社や地域のみなさまに助けられ何とかここまで来ることができ、どこよりも多くのノウハウを蓄積することができました。

一方、最近の事業の立ち上げには、最初から行政支援や商工団体の協力がある中でスタートすることが多いため、環境が整った状態でスタートすることが多いというのが実情です。ただ、環境が折角整っているものの地域通貨を導入すること、つまり手段が目的になつてしまい、その後のDXをいかに図るかという本来の目的が議論されないまま事業が立ち上がることが横行しています。デジタル地域通貨は手段であり、地域の未来をどのように描いていくかという目的を官民一体となつて進めていけるかがカギとなります。

健康づくりプロジェクト支援について詳しく教えてください。

企業が「社員の健康」を経営課題として積極的に改善に取り組み「健康経営」。その「健康経営」を導入する企業の取組みに対して、地域通貨で社員の福利厚生を充実させ、地域社会へ利益を還元する仕組みを提供しています。また、地元NPO団体やスポーツチームのホームタウン活動を支援することで企業も社員も地域も元気になる取組みも行っています。社員も含めた地域のみならず「健康」で「幸せ」に暮らすことができる豊かなまちづくりを目指しています。



マイデジはお得な情報を得ることができ、健康づくりや地域ボランティア、行政からの給付などでポイントを受け取れます。お買いものに使うだけでなく、地域のスポーツチームやNPO団体を応援することもできます。



以前は、ICカードで運用していましたがバージョンアップさせ、マイデジアプリ内のヘルスケアメニューに組み込みました。ヘルスケアメニューは、アプリ利用者全員がだれでもアクセスでき、歩数を記録し、一日に歩いた歩数が6,000歩以上に達すると動画広告が流れて、見終わるとポイント抽選に参加できるという仕組みになっています。

また、企業版のメニューも用意しており、健康経営プログラムの契約をした企業に対して、専用のIDとパスワードを発行しており、それを使ってログインするとその会社の健康経営の専用ページへ入ることができるようになっていきます。このページでは、会社独自の健康づくりの取組み項目を設定できるようになっており、毎日健康チェックを行うことで、社員に対してポイントインセンティブを付与できる仕組みになっております。健康事業に取り組みむ際に、いきなり数値改善を図ろうとすると上手くいかないケースが多々あります。まずは、社員の行動変容を促し、行動を見える化することがこの機能の目的です。

社員が健康づくりに取り組むことで、地元香川県でご利用いただける

マイデジポイントを進呈し、貯まったポイントは、県内約400店舗以上の加盟店でご利用いただけるほか、アプリ内に掲載されている、県内の事業者が提供する商品と交換することができたり、NPO団体等（11団体）へポイントで寄付することもできます。

このサービスは、ポイントの原資や月額費用をいただくサブスクモデルとなっており、現在1,300名ほどのご登録があり、運営しております。

更に、企業や団体が本プログラムを導入することで発生するポイントの手数料の一部を基金やスポーツ団体へ自動的に寄付することができるようヘルスケアとクラウドファンディングを融合した仕組みの構築も可能となっております。地元を盛り上げるために活動している団体を支援する仕組みとして活用いただき、利用者が普段の生活の中でポイントを貯めながら、応援したい団体等へ貢献することで、もっと日本の国でドネーション文化が広まればと思っております。

デジタル地域通貨事業は、社会事業としての一面があるため、株式会社のように会社の利潤を一義に追い求めるのではなく、利用者も事業者も、そして行政や商工団体

等も、関わる全てのステークホルダーがwin-winになれる関係を構築する仕組みです。

貴社の今後の展開等についてお聞かせください。

地域通貨は、産業、観光、健康、福祉、交通など、さまざまな分野の課題や問題解決のツールとして活用いただけると考えております。ただし、地域通貨は、道具です。この道具を使って、地域課題をどのように解決していくのかということを日々模索しています。例えば、2024（令和6）年4月から香川県全域でこれから始まる出産・子育て応援給付金、一部デジタル地域通貨で受け取りができるようになります。既に弊社のソリューションを導入していただいている自治体は、そのままそのシステムやアプリをご利用いただくことができ、未導入の自治体には、県内全域で利用できるマイデジアプリで給付を受け取っていただけます。無料でダウンロードしたアプリで、県内加盟店の商品と交換できる「ともはぐペイ」というデジタル給付金の利用がスタートします。

子育て世代のお母さん方に情報を届けたり、商品を購入していただく

だけではなく、デジタルでつながることで、新しい形ができるのではと考えています。例えば、健診の申請ができるようになり、購買データと健康データをマッチングすることで、パーソナライズされた商品の提案ができたり、住民サービスの向上に繋がる情報をレコメンドするなど、デジタルだからこそできることも沢山あると思います。また、高松市の脱炭素の取組みやSDGsなど、経済の活性化のみならず、コミュニティや地域課題の解決に重きを置いて取り組んでまいります。

そのほか、三豊市の「Mito Pay（ミトペイ）」、琴平町の「KOTOCA（コトカ）」、観音寺市の「銭形Kコイン（ゼニガタKコイン）」など、自治体向けにアプリを提供させていただいており、今後も決済分野における共通プラットフォームの構築を県内で推進したいと考えております。

香川県や市町の行政に感じていることをお聞かせください。

情報発信の大変さは身につまされております。見えないところで努力を続けていても、知ってもらうまでに

はずいぶん時間がかかります。瀬戸内国際芸術祭やうどん県のブランディング、オリーブ牛やオリーブハマチの特産物のPRなど、マスメディアで拝見する限り、香川県のみなさんはとても努力なさっていると思いますが、我々の業界のお話で言えば、例えば、三豊市の「Mito Pay（ミトペイ）」は、住民の20%以上の方にアプリをダウンロードしていただいております。そのため、企業の告知は勿論、啓蒙活動などの情報発信のツールとしてもご活用いただきたいと考えております。



「Mito Pay（ミトペイ）」決済シーン。

今後は、デジタルの強みを生かして、決済分野だけでなく、他の分野との連携により、デジタルトランスフォー

メーションの推進を図ることが重要になってくると思いますので、行政のみなさまにおかれましては、失敗を恐れず、新しい取組みにトライしていただきたいと思っております。

本誌を読む自治体職員に向けて、アドバイスをお願いします。

10年先、20年先を考えて、ふると香川県が自慢したくなる地域であるために、香川県らしさ、地域らしさを子どもたちにどう伝えていくか。

帰りたい場所、温かい場所として、子どもたちの心に位置づけるためには、家庭だけ、学校だけではなく、広い取組みが必要だと考えます。地域に誇りを持ち、ふるさとに愛を感じ、香川県を盛り上げてくれるような人材を育てるために、この地域通貨を役立てることができればとも願っております。自治体のみなさまには、将来を見据えた視点での広い取組み、試行錯誤を積極的に行っていただくことを願っています。



大澤 佳加（おおさわ・よし加）

香川県出身（高松市在住）
昭和45年2月6日生まれ 54歳

昭和63年 3月 志度高校 卒業
平成25年 3月 サイテックアイ株式会社 入社
平成28年 8月 サイテックアイ株式会社
代表取締役社長 就任
令和 3年 7月 「イラストで学べる地域通貨のきほん」
を白夜書房より出版
現在に至る。

本社所在地 香川県高松市上之町2丁目8番27

PROFILE

「香川用水通水50周年」 水の恵みについて改めて考えよう



香川用水幹線水路位置図

香川用水の概要

香川県には、県内水源と県外水源の2種類の水源があり、県全体で使用する水量（水道・農業・工業）のうち、7割が県内水源、3割が県外水源となっています。吉野川を水源とする香川用水は県外水源の99%で、本県は香川用水に大きく



水資源対策課
副主幹 有馬 美香

依存しています。

香川用水は、高知県の早明浦ダムに貯水された水の一部を徳島県の池田ダムによりせき止め、阿讃山脈を貫く8キロメートルの導水トンネルで三豊市財田町まで導き、ここから更に東西に延びる98キロメートルの幹線水路によって県内に導水されています。県内の山間部と島嶼部を除くほぼ全域に、農業用水、水道用水、工業用水を供給しており、香川県が昔から悩まされてきた水不足を解消し、生活や産業活動の重要な役割を担うライフラインです。

香川用水の歴史

香川県は古くから降水量が少なく、慢性的な水不足に悩まされてきました。安定した水資源を求めた先人達は、徳島県に流れる吉野川からの分水計画を考えてきました。しかし、流域を超えての分水は、同じ県内でも難しいものであり、ましてや県境を越えての分水は夢のような話でした。

太平洋戦争後、日本経済の復興には、安定した水資源の供給と電力供給が急務であったことから、四国総合開発の柱として分水計画の

検討に拍車が掛かり、紆余曲折を経て、「吉野川総合開発計画」が発表されました。

そして、1967（昭和42）年に香川用水の水源である高知県の早明浦ダムが着工され、1968（昭和43）年10月には香川用水事業が着工されました。

工事が順調に進む中、1973（昭和48）年の夏、香川県は「高松砂漠」と呼ばれる大干ばつに見舞われました。高松市では3時間の給水制限が実施され、陸上自衛隊が給水活動を実施しましたが、給水車が不足するほどでした。何とか県内水源の水を活用することで苦境を脱しましたが、ますます香川用水の完成が待ち望まれました。

翌年の1974（昭和49）年5月、香川用水に水道用水が通水され、同年8月1日に各家庭に配水が開始されました。香川用水の本格通水が開始されたのは、1975（昭和50）年6月11日でした。

香川用水完成後、緊急時に利用できる宝山湖の建設や、施設の耐震化工事など、関係機関が水の安定供給に努めています。近年の異常気象の影響から毎年のように

喝水になっています。それでも、香川用水がなければ更に厳しい状況になり得ることを忘れてはいけません。

いのちの水、友情の水

高知県にある「早明浦ダム」と徳島県にある「池田ダム」がなければ、香川用水が通水することはありませんでした。多くの先人達の苦勞と水源地域の方々の温かいご理解とご協力の賜物です。



早明浦ダム(写真提供:独立行政法人水資源機構)

吉野川の水が初めて県内の各家庭へ配水されて以来、香川用水は2024(令和6)年に通水50周年を迎えますが、50年も経つと香川用水があることは、当たり前になつているのかもしれない。しかし、香川用水の通水により、県民生活の向上はもとより、経済・産業の発展に大きく寄与し、その恩恵は計り知れないものです。

県では、香川用水がもたらす恩恵を学び、その重要性や水の大切さについての認識を深めてもらうため、県下の小学4年生全員に、香川用水をはじめ人々の暮らしと水の繋がりを紹介した副読本を配布するとともに、希望



池田ダム(写真提供:独立行政法人水資源機構)

する学校には県職員による出前講座も実施しています。

また、小・中学生に水源地域への感謝の気持ちを育んでもらうため、早明浦ダムや池田ダムなどの水源施設を見学する学校行事への支援を1994(平成6)年度から実施し、今年度末までの累計で、約17万3千人の児童・生徒が参加しており、今年度からは、早明浦ダムと池田ダムを管理している水資源機構の協力のもと、オンライン授業も実施しています。

さらに、香川用水記念公園内の水の資料館(三豊市)や香川用水資料館(高松市)では、映像やパネル、昔の道具などを使った展示、団体見学を受け付けており、幅広い世代の方々が訪れています。

香川用水の水は、県境を越えて導水されている「いのちの水」であり、水源地域の徳島県、高知県からの「友情の水」です。通水50周年を迎えるにあたり、改めて「いのちの水、友情の水」に私たちの生活が支えられていることを考えるきっかけになれば、と思っています。

香川用水通水50周年記念事業

2024(令和6)年は、通水50

周年の節目の年となるので、さまざまな記念行事を開催する予定としています。記念式典には、香川用水の水源地域の市町村長をはじめ、四国内の知事、県内の関係市町長、関係機関の方々にもご参加いただき、長年にわたるご理解とご協力への感謝の気持ちを伝えたいと思っています。



香川用水記念公園

また、県民の方々に香川用水への知識を深めてもらうための施設見学ツアーや、香川用水記念公園や香川用水資料館等でもイベントを計画しています。後日、詳細を発表する予定ですので、ご家族やご友人と是非ご参加ください。

関係各市町、関係機関のみならず、さらには、今後とも香川県の水源対策にご理解とご協力をお願いします。

山形県 長井市



長井市 総務参事
(兼)地域づくり推進課長
新野 弘明さん



東北最大級のボールプール。30万個のボールを有し、連日子どもたちの歓声が響く

新たな集客と賑わいの拠点「くるんと」

1 はじめに

長井市は、山形県の南部、置賜地方に位置し、朝日山系を源とする置賜野川、飯豊山系を源とする置賜白川、そして、吾妻山系を源とする最上川の3河川に囲まれた盆地で、「長井」という地名も、水の集まる場所から由来する水のまちです。野川から分水された水路がまちの至るところに張り巡らされ、朝日山系からもたらされる豊富で良質な地下水は、当市の水道水源です。

また、長井市には「長井古種」と呼ばれるあやめ(花菖蒲)の固有種があり、当市の市章もあやめがモチーフです。

春から秋にかけては、市内各神社の例祭日に、漆黒の頭に波頭模様の長い幕を持つ獅子がお神輿の露払いとなり、「警固」に先導されながら氏子の家々を祓い清める神事が行われます。



長井市の獅子は蛇が水面を泳ぐように滑らかに進む 長井古種34種のひとつ「長井小紫」

2 中心市街地活性化の取組み

当市では、国から認定を受けた「長井市中心市街地活性化基本計画」に基づき、持続性のあるにぎわいと新たな活力を生み出すまちの実現に向けて取り組んでいます。

当市を訪れた人をまちなかに呼び込むためのゲートとして、中心市街地区域内を通る国道沿いに観光交流センター「道の駅 川のみなと長井」を整備したほか、若者の起業・創業支援や、地域連携DMO組織「一般社団法人やまがたアルカディア観光局」によるまちなか誘導策、市技の「けん玉」を活用したまちおこしなどのソフト整備を地域住民と共に実施しています。



山形県長井市

- 面積 / 214.67km²(R4年10月1日現在)
- 人口 / 26,543人 (R2年10月1日現在)
- HPアドレス <https://www.city.nagai.yamagata.jp/>

DATA



長井市は競技用けん玉の生産量が日本一

3 にぎわいの拠点に

令和に入り、当市の中心部は大きく変わってきています。

防災拠点としての機能不足や激しい老朽化が懸念だった市庁舎を新築し、2021（令和3）年5月に開庁しました。山形鉄道フラワー長井線長井駅と一体となったもので、訪れる人が行き交い、市民の憩いの場になっているほか、夕方からは勉強する中高生の姿が見られ、今やまちのシンボルです。

並行して、都市機能を充実させるため、都市再生整備計画を策定し、2019（令和元）年度から2023（令和5）年度まで、国土交通省都市局所管の都市構造再編集中支援事業を活用して整備を進めてきました。

代表的なものとして、新庁舎の隣接



郡是製絲にちなみ、繭をモチーフとした「くると」
右側は、長井駅と一体になった市役所庁舎

地に昨年オープンした、遊びと学びの交流施設「くると」があります。

子育て世代活動支援センターと市立図書館を合築した複合施設で、施設内にはカフェ機能を備えた交流ラウンジも併設されています。



落ち着いた雰囲気の交流ラウンジ

1920（大正9）年に郡是製絲長井工場が操業を開始してから100年、この場所に誕生した「くると」は、グンゼ開発株式会社が統括するプロジェクトチームが設計、施工を行い、完成後に長井市が買い取るという手法により整備したものです。

子育て世代活動支援センターには、子育て支援センターや乳幼児の一時預かり機能を有し、オールシーズン利用できる屋内遊戯場があります。

屋内遊戯場は、クッション素材で囲まれた赤ちゃんの遊びエリア、組み立て玩具や木のおもちゃで遊ぶエリアなどがあります。そして、いちばんの特徴は、東北最大規模のボールプールとボールを当てるデジタルウォールコンテンツです。

小学生までのお子さんが無料で利用できますので、休みの日を中心に多く

の子どもたちで賑わっています。

図書館は、第3の場所（サードプレイス）としての役割を担う、開放的で居心地の良い空間です。館内には飲み物（蓋付き）の持ち込みができ、カウンターやソファ席など変化に富んだ閲覧席や半個室のワーキングコーナーを備えました。児童図書エリアには、楽しい気なドームや寝転がって本も読める小上がりスペースを設けています。

外では、噴水のある水盤で水遊び



夏季には、水遊びをする子どもたちで賑わう



図書館の一般書架エリア。窓際のカウンター席やソファ席など、変化に富んだ閲覧席がある

をし、大型滑り台やターザンロープなどの遊具がある芝生エリアでアクティブに遊ぶことができます。

オープンから半年が経ち、これまで市内外から延べ20万人の方々にご利用いただきました。屋内遊戯場の利用者の内訳は、およそ7割が市外から、そのうち1割が県外からです。図書館では、旧図書館に比べ、貸出件数の2倍増に対して来館者数が10倍近く増えていることから、サードプレイスとして機能しているのと感じています。

この集客力をまちなかの回遊にどう繋げていくかが次のテーマです。市内の事業者を中心に「くると」を活用した動きも出てきていますので、地元の方々と一緒に取り組んでいきたいと考えています。

4 おわりに

当市は、2024（令和6）年度に市制70周年を迎えます。第六次総合計画を策定し、まちづくりの新たな10年がスタートする年でもあります。

安全安心や都市機能のさらなる向上に努め、互いの違いを認め合える地域社会づくりに取り組み、寛容で人に優しく、将来にわたってみんなが幸せに暮らせるまちを目指してまいります。

香川の まち歩き

瀬 戸内海国立公園指定90周年を迎える今年、海だけではなく訪れてほしいのが、陸の国立公園認定地でもある「金刀比羅宮」。海の神様に平穏な日々を願い、こんびら歌舞伎も復活しにぎわいが戻る門前町で歌舞伎情緒を楽しみます。



海の神様に参拝し、 門前町をそぞろ歩き 琴平町



象頭山に鎮座する金刀比羅宮。御本宮のご祭神は農業・殖産・医薬・海上守護の神として知られる大物主神と崇徳天皇です。



「奥社」は通称、正式な名称は「厳魂神社(いつたまじんじや)」。金毘羅信仰の発展の礎を築いた、金刀比羅本教の教祖である厳魂彦命(いつたまひこのみこと)が祀られています。

金刀比羅宮は、総本山善通寺と御朱印をコラボするなど、町内県内にこだわらずさまざまな取組みを行っています。金刀比羅宮と言えば、なんと言つても長い石段が有名ですが、2023(令和5)年7月には、石段を舞台にバトンのように筆をリレーさせて書道作品を完成させるイベントを行いました。これは、金刀比羅宮同様歴史ある石川県金沢市の石浦神社とのコラボでした。

石段を登っていると、所々に何段目かを記す標識があります。ちなみに大門までは365段。一年の幸せを願いながら踏みしめましょう。意外と知られていないのが、旭社の手前の33段。女の厄年に重なり、厄よけが願えます。785段の御本宮に手を合わせた後は、全国唯一という「幸福の黄色いお守り」を手に入れましょう。足に自信がある人は、御本宮の

向かって右側、展望台から続く石段でさらに上を目指します。表参道から通算1,368段上がれば、奥社こと「厳魂神社」に到着です。

全て登るのが難しい方は、500段目近くにあるレストラン『神椿』を利用すれば、その駐車場までは車で入れます。途中までゆつくりと裏参道を登る選択肢もあり、帰路は表書院や高橋由一館、宝物館などを観賞し



金刀比羅宮のガイドしてくれたのは、金刀比羅宮権禰宜 岸本庄平さん。

「幸福の黄色いお守り」は、全国的に見ても貴重な鬱金(うこん)色の肌守り。あふれんばかりの恵みと愛をもたらしてくれる色だそうです。





木戸銭(入場料)を取りこぼすことがないように背を低くしたねずみ木戸をしゃがんでくぐれば、歴代の出演者を記した木の札がずらりとお出迎え。



昨年は、石浦神社とのコラボで書道リレーのイベントが開催された金刀比羅宮の長い石段。今後もさまざまなイベントを通して多くの方とのご縁を結んでいきます。



旧金毘羅大芝居のガイドの細川浩司さん。



金丸座とも呼ばれる旧金毘羅大芝居は、現存する中では日本最古の芝居小屋。毎年春に「四国こんぴら歌舞伎大芝居」が開催されることでも知られてきました。



ながら下るのもおすすめ。世代を超えて何度も足を運んでいただきたい「こんぴらさん」です。

参拝を終えれば、門前町の楽しみが待っています。その昔は歓楽街の中ほどで芝居や富くじの会場となつたのが「旧金毘羅大芝居」でした。今は、高台に建物を移し、「金丸座」とも呼ばれ多くの観光客を迎えています。

旧金毘羅大芝居が建てられたのは1835(天保6)年、坂本龍馬が生まれた年。1970(昭和45)年に国の重要文化財となり、保存のため4年をかけて解体移築しました。ねずみ木戸をくぐり中に入ると、そこはまるで江戸時代そのまま。廻り舞台もセリもここにしかないという空井戸も、仕掛けはすべて人力。それも地元商工会のみなさんが、プロ顔負けの仕事ぶりで舞台を支えています。その舞台下までつぶさに見学できるのが、芝居がない日の魅力です。これを知ると知らないでは大違い。大芝居の面白さや観賞の仕方がより深く理解できるようになります。

今年は5年ぶりに、「四国こんぴら歌舞伎大芝居」が行われます。期間は4月5日(金)から休演日をはさみ21日(日)まで。コロナ禍で大芝居が中止になっている間に、過去二度目の大規模な耐震補強工事(令和の大改修)も行われたため、今回は工事後初の「柿落し公演」でもあります。江戸の風情そのままにお芝居を楽しむ旧金毘羅大芝居で、役者たちの演技を間近に体感してみたいいかがでしょうか。

さて、芝居小屋を出た後は、にぎわうまちに繰り出しましょう。芝居小屋の余韻を楽しむ仕掛「こんぴら大芝居絵看板」を目指します。映画で言えばポスターのように一番の見どころを描いた歌舞伎の絵看板を巡ります。表参道には、金丸の郷など何店かにレプ



役者絵ともいう歌舞伎の名場面を描いた歌舞伎絵看板。一場面のものあればさまざまな場面を組み合わせで描かれているものもあります。



絵看板巡りのガイドをしてくれた佐藤公子さん。

リカが飾られているので、探してみましよう。本物は、芝居小屋跡地に建てられた琴平町文化会館(歴史民俗資料館)で展示されていますのでお見逃しなく。

次は一之橋に向かいます。先に続く新町商店街では、ところどころに絵看板が見えます。こちらの絵は、模写なのだそうです。無料休憩所や銀行跡の建物に町営のギャラリー、その先は、「地域まるごとホテルプロジェクト」で話題となっており、興味は尽きません。

駅や駐車場から参拝の行き帰り、まち歩きも楽しみたい「こんぴらさん」の門前町です。

香川の自治に新しい力 New Face

はじめまして

丸亀市
市民課

さかいらいふうか
坂入 楓花さん



■あなたのチャームポイントは？
よく通る、明るい声です。周りの方から聞きやすいと褒めていただけることが多いです。

■丸亀市をこうしたい！
支え合い、誰もが安心して暮らせるまちにしたいです。広い視野と共感性を持ち、市民と協働したまちづくりに努めます。

高松市
地域振興課
のぐちようへい
野口 陽平さん



■目指す人物像は？

困っている市民の方を見かけたら自然に手を差し伸べられるような職員になりたいです。

■高松市のいいところは？

比較的温暖で自然災害が少ないところと、コンパクトさの中に自然と都市環境が調和しているところです。

土庄町
企画財政課

いぐちたくや
井口 拓也さん



■今、熱中していることは？
ランニングです。土庄町タートルマラソンのフルマラソンにいつか挑戦してみたいです。

■土庄町のいいところは？
穏やかな街の雰囲気と自然です。海でのアクティビティやキャンプなど楽しみ方はさまざまです。

綾川町
税務課
さとうみきのり
佐藤 幹紀さん



■あなたのチャームポイントは？

元気で明るいところです。どのような年代の方でも気軽に接していただけたらと思います。

■綾川町をこうしたい！

子どもから高齢者までの住民の皆さまが暮らしやすく元気で活力に溢れ、町外の方も住みたいと思える町にしたいです。

小豆島町
健康づくり福祉課

おかだるい
岡田 留依さん



■目指す人物像は？
住民の方に寄り添った相談・指導ができる栄養士になることです。食のプロになりたいです。

■小豆島町をこうしたい！
小豆島町の食文化を繋ぎ、みんなが健康に暮らせる、そんな町にできるよう栄養士として食の面から支えていきたいです。

中讃広域行政
事務組合
はまたこうへい
浜田 晃平さん



■今、熱中していることは？

家具選びです。近日、引っ越し予定があるので新居で家具を一新しようと思っています。

■組合の仕事内容は？

ごみ処理・リサイクル、滞納整理、情報処理、介護認定等、多岐にわたる業務を行っております。

小豆島中央病院
企業団

ばばちなつ
馬場 千夏さん



■今、熱中していることは？
散歩やドライブをすることです。休日に景色が良いところに行くことで気分転換になります。

■企業団の仕事内容は？
患者さまやご家族の相談に乗ります。心理的、社会的な課題の解決に向け、多職種との連携を保ち、退院支援等を行います。

観音寺市
教育総務課
おおいみく
大石 未来さん



■あなたのチャームポイントは？

よく笑うところです。新しい環境でたくさんの方とお話できるので嬉しいです。

■観音寺市をこうしたい！

私は、観音寺市を人があふれ、活気のあるまちにしたいです。市民の方がより暮らしやすいまちになるよう頑張ります。



子どもたちに本物の舞台を体験してもらいたいと始まった「さぬきっずコムシアター」。



「コムコムひろば」では、親子のリフレッシュ広場や季節行事体験、ベビーマッサージなど、楽しいふれあいや役立つ情報を提供しています。



丸亀市

世代を超えたふれあいや子育て支援

認定NPO法人

さぬきっずコムシアター

(認定NPO法人さぬきっずコムシアター理事長 高橋 勝子さん)



孤軍奮闘したご自身の経験から子育て支援などに積極的に取り組む高橋さん。子育て支援コーディネーターなど多くの役目を担っています。

1983(昭和58)年、子どもたちに優れた舞台芸術を体験してもらいたいと「丸亀子ども劇場」としてスタートした「さぬきっずコムシアター」。2005(平成17)年にはNPO法人格を取得。2012(平成24)年には、活動の拠点を大きな古民家に移し、その場を生かした世代を超えたふれあいや共に支え合う居場所となる活動を展開してきました。そして、2020(令和2)年7月、丸亀市では初の「認定NPO法人」として新たなスタートを切りました。ちなみに全国には約5万を超えるNPO法人があります。認定NPO法人は約千団体、全体の約2%。内閣府が定めた厳しい基準を満たしており、高い信頼性が確保されていることを示します。



昨年9月に開催された3世代交流イベント「きっずコムフェスタ2023」。

例を挙げると妊娠 期・赤ちゃん時代の 子育て支援や情報 提供などを行う3 箇所の「コムコムひろば」、幼稚園期には 親子が一緒に遊んだ り交流したりする 「じゃんぶくくらぶ」、小学生には教育委員 会から委託されている放課後子ども教室 「どつきん☆くらぶ」、中高生向けの「テラ ☆ティーンズ」、大人を対象とした婚活イベ ントやより気楽な出会いの場づくりにも 取り組んでいます。加えて、お父さんを支援 する「とつとコム」やお母さんのための「ママ ねつと」、異年齢親子が交流する「親子 ねつと」、また、高齢になっても自分の人生を 楽しむための「エンジョイ！コムライフ」など 世代を超えた支援を展開しています。

コロナ禍で浮かび上がったのが、生活 困窮家庭。発足当時から「全ての子ども たちに創造性豊かな体験を」をスローガン として掲げてきましたので、事情がある 家庭は活動に無料で参加できるよう間口 を広げました。自治体からの支援を受け、 ひとり親家庭には学習支援や食品の配布 も行ってきましたが、今後の国の方針に よつては財源確保も必要です。また、目 の前の子どもが学校に行けなくなっている 現状もあり、不登校の課題にも取り組む たいと模索中。「開いているから立ち寄って ちょうだい」と言っただけでは、出てきてく れませんので、どう工夫するか大きな課題 です。越えても越えて も取り組みたい問題が 見えてくる「さぬきっず コムシアター」。担い手の 人材育成も急務ですが、 利用したお母さんが 役立ちたいと参加して くれるうれしいケースも あり、絆のありがたさを 感じていると語る高橋 さんです。

DATA

認定NPO法人 さぬきっずコムシアター

☎0877-25-0691

※通常のひろばは予約の必要なし。また、 電話で気軽に相談や予約ができます。



長期貸付事業

本協会は、サマージャンボ宝くじの収益金を原資とし、市町および一部事務組合が行う公共施設整備等の起債事業に対し、低利資金を融資しております。

■**貸付条件** 償還期間および据置期間については、次の期間から市町および一部事務組合において選択していただきます。

貸付の種類	貸付対象	償還期間	貸付利率	償還方法	貸付日
長期貸付	一般会計債 (全事業)	5年(据置期間1年以内)	年0.20%(※)	半年賦元金均等償還	毎月24日 (※)
		10年(据置期間2年以内)	年0.30%(※)		
		12年(据置期間2年以内)	年0.30%(※)		
		15年(据置期間3年以内)	年0.50%(※)		
		5年(据置期間1年以内)	年0.20%(※)	半年賦元利均等償還	
		10年(据置期間2年以内)	年0.30%(※)		
		12年(据置期間2年以内)	年0.40%(※)		
		15年(据置期間3年以内)	年0.50%(※)		

※貸付利率は、令和6年2月貸付の場合。財政融資資金(政府資金)の貸付金利が年0.7%以上3.3%未満の場合には、当該貸付金利から0.3%を減じた率、当該貸付金利が年0.3%以上0.7%未満の場合には、年0.3%とし、当該貸付金利が年0.3%以下の場合には、当該貸付金利と同率とします。

なお、同資金の貸付金利が、次の表の貸付期間別に定める貸付利率未満の場合には、上記の規定にかかわらず、当該貸付利率とします。

貸付期間	10年以下	12年	15年
貸付利率	年0.10%	年0.11%	年0.14%

また、貸付日は、毎月24日。

■**事業実績(令和4年度貸付)** 長期貸付は8市3町および2一部事務組合39事業に対して総額16億1,300万円の貸付。

■主な貸付先

東かがわ市／緊急防災・減災事業(防災物資拠点施設整備事業)

防災物資拠点施設を整備し、災害時の2次物資拠点機能、備蓄倉庫及び災害ボランティア拠点等としての災害対応防災力の向上を図り、平時は消防団等の活動拠点として活用し、地域防災力の醸成が図られた。

小豆島町／旧合併特例事業(旧市町村合併特例事業)

高潮対策として、今後予想される南海、東南海地震による津波対策と合わせて、防災計画に基づいた高潮対策に取り組み、防災力の向上が図られる。急傾斜地崩壊防止対策事業として、降雨による山腹崩壊の危険性が高まっている地区の急傾斜地対策を実施することで、住民の生命及び財産を保護することを図られた。

坂出、宇多津広域行政事務組合／一般廃棄物処理事業(補助事業)

一般廃棄物処理施設の円滑な運営と延命化を図るため、基幹的施設改良工事を行うことにより、長寿命化、延命化が図られた。



宝くじのご購入は香川県内の売り場で!

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

クーちゃん

宝くじ
公式サイト

宝くじがネットで購入できる!

宝くじの収益金は、明るく住みよいまちづくりに使われます

宝くじ公式サイト | Q



お問い合わせ先

宝くじコールセンター

TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料)

TEL 011-330-0777 (有料)

公益財団法人 香川縣市町村振興協会